

活動日	時間	天候	記録者
2019年3月14日(木)	9:30~12:00	(晴)	(菅田)
2019年3月27日(水)	9:30~12:00	(晴)	

参加者氏名 (13名+ 11名)	(3月14日) 磯野彰夫、菅田忠志、黒子兵吾、塩ノ谷年子、清水英輔、俵 貴志子 田路義弘、橋野美子、松本治美、水島康夫、山田喜義、米倉 進、与茂田 正 (3月27日) 菅田忠志、小林澄夫、塩ノ谷年子、俵 貴志子、田路義弘、中西 優、 橋野美子、松本治美、水島康夫、山田喜義、米倉 進
------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今月実施した 作業内容	3月14日 1. 2月の残り作業となったシイタケ種菌の植菌作業を完了させる。 2. 林内散乱小枝の搬出。 3月27日 1. 下部産卵生育場所の古い腐葉土掻き出しと、更地面の日光消毒。 2. 下部産卵生育場所周辺に集積されていた台風被害木の処理。
----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

写真説明 (3月14日の作業)



まずみんなで前回やり残していたシイタケ種コマの打ち込み作業を完了させた。
仮伏せ(梅雨入りまで)のホダ木が50本完成。



こちらせつせと林内の小枝を運び出す人たち
チップがけ用の小枝がまたずいぶん集積されてきた。

こちらせつせと里山の恵みを収穫してきて分配してくれる人たち。



(3月27日の作業)



花実の森に4か所あるカブトムシの産卵・生育場所の内、一か所の腐葉土を掻き出し、更地にする作業を実施。更地内の日光消毒をしておき、次の産卵場所の準備としていく。他の場所も順次この作業が必要。



多分幼虫の食い代が少なくなっていたであろう古い腐葉土を掻き出し、すっきりした更地には陽があたり、日光消毒を。



その傍で気になっていた我々の活動以外で伐倒され集積された山桜の枯損木。(台風被害木と思われる)

山桜にはカビかキノコか知らないが、樹皮いっぱい白いもので覆われていた。それを上記更地から離すため幹と小枝に分けて移動。そのまま腐葉土化させることに。



他に気になっていた集積枯れ木には、台風被害の楠の折損木もあった。チップパーをここまで運び、チップ処理。「クスノキには樟腦の成分が含まれているので、カブトムシ用にはだめかも」との意見が……。そのため、このまま単独でここに残し、この夏ここに産卵するかどうか観察してみることにした。



今年も村内で見つけて拾ってきた“芽生えのクヌギどんぐり”の植え付けをおこなう。秋には子どもたちの植樹の苗木に。

昨年12月に種をまいたササユリの苗床にも散水。発芽まであと12か月。